

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること（第1号関係）

目標と目指す教師像

奈良学園大学では「建学の精神」として、高度な専門学術知識に裏付けられた実践力を有する有能な人材を教育・養成し、地域社会及び社会全体の発達・発展に貢献する。また「教育理念」として、現実に立脚した学術の研究と教育を通じて、明日の社会を開く学識と実務能力を兼ね備えた指導的人材の育成を目指し、時代の進展に対応し得る広い視野と創造性を培い、誠実にして協調性のある心身ともに豊かでたくましい実践力を持った人材を養成することを使命としています。

この使命を達成するために、人間教育学部人間教育学科では、人間教育学専攻に乳幼児教育専修・小学校専修・中等国語専修、中等（数学・音楽）専攻に中等数学専修・中等音楽専修を置くとともに、特別支援教育に携わるための専門的見識を有した教員の育成も視野に入れ、目指す教師像を設定し、教育者の養成を教育の目標としています。

目指す教師像

- ◇ 「豊かな人間性と思いやり」
- ◇ 「教育者としての使命感・責任感・情熱」
- ◇ 「児童生徒に対する深い愛情」
- ◇ 「教科等に関する優れた専門性と指導力」

目標を達成するための計画

本学部学科では、ディプロマ・ポリシーを策定し、「豊かな人間力」「柔軟な教育力」「高度な実践力」の3つの力を備えた教員になることをめざします。

ディプロマ・ポリシーを示しておきます。

- ① 広く豊かな社会的常識をもち、人間的社会的に成熟している
- ② 教職に対する使命感をもち、児童生徒に教育的な愛を持って接することができる
- ③ 学校現場の様々な教育課題に適切に対応し、チームとして行動することができる
- ④ 子どもの発達に応じて授業を構想し指導を工夫する教育の専門家である
- ⑤ 自己の学習を振り返り、理論と実践を結びつけた研修を継続的にできる
- ⑥ 保護者や地域の人等、学校外の人等と広く連携する力を身につけている
- ⑦ 日本の伝統文化を深く理解し、国際的な感覚を身につけている

このディプロマ・ポリシーを基に、身につける能力を①～⑦つの構成要素で設定しています。

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
D P	豊かな人間力			柔軟な教育力		高度な実践力	
	①基礎的知識・技能 ②自己理解・自己管理能力 ③人間関係形成・社会形成能力			④論理的思考力・創造力 ⑤課題対応能力		⑥専門的知識・技能 ⑦キャリア形成能力	

図：3つの力を構成する7つの構成要素

それぞれの構成要素の細かな注釈を下の表にまとめています。

基軸	構成要素	細目	細目注釈
豊かな人間力	①基礎的知識・技能	日本の伝統文化	伝統とは、「国を主体に受け継がれてきたものや、地域社会や家を主体に受け継がれてきたものなど、さまざまな形で今日まで継承・伝承されてきたものであり、これからは普遍的な価値と精神性、歴史的な存在意義として継承・伝承されていくもの」（日本伝統文化振興機構、2013）を指す。ただ単に日本の伝統文化の知識を持っているだけでなく、その普遍的価値、精神性、歴史的な存在意義までを理解しているかが問われる。
		国際的な感覚	海外へのおこがれにとどまらず、日本と海外の相対化をしようとしている。
		教科・教育課程に関する基礎知識・技能	大学での学習内容に中等教育までに学んできた基礎知識・技能を活用し、新たな知識・技能の更新をしている。
	②自己理解・自己管理能力	将来を考えることへの意欲や関心	自らの将来に向けて、自分事として考えようとしている。
		自己教育力のためのセルフマネジメント能力	遅刻・欠席をせず、提出物を期限内に提出をしている。
		将来を見据えて学ぶ能力	将来を見据えて学ぼうとしている。学ぶ動機が「単位取得」という近視眼的なものではなく、「実習」「卒業後の自分」とより遠い展望をもって学ぼうとしている。
柔軟な教育力	③人間関係形成・社会形成能力	他者との協調性	グループワークに積極的に参加する。グループ内でリーダーシップをとるなどしている。
		倫理的態度	社会生活を送る上で一般的な決まりごとや秩序を守り、善悪を正しく判断しようとしている。
	④論理的思考力・創造力	論理的思考	物事を筋道立てて考えようとしている。
		創作・工夫	課題を安易にコピー・アンド・ペースト（コピペ）だけで済ませようとしない。さらに、課題に独自性やオリジナリティを求めようとしている。
高度な実践力	⑤課題対応能力	課題探究	自ら「問い」を立てて課題を見つける。「問い」に基づき仮説を立て検証する。検証結果をまとめ明らかにしたことを発表する等、リサーチエッセンスの技法習得を目指そうとしている。発表の際、他者から指摘された意見に誠実に答えようとしている。
		専門分野における使命感・情熱	大学における専門の教育内容を究めようとしている。
	⑥専門的知識・技能	専門分野における知識・技能	専門分野の知識・技能を習得しようとしている。
		⑦キャリア形成能力	幅広い人との連携 大学構内の者だけにとどまらず、学外の人と大学の授業外で会おうとする。学校外で働く人に積極的に質問をしようとしている。

次に、カリキュラム・ポリシーを策定し、教員にとって必要な知識及びスキルを身につけるとともに、教育現場の営みや取り組みを体験することによって教師という職業について認識を深めていきます。そのために、1年から4年までの教育課程で教職免許法が定める授業科目を確実に履修すると同時に、特に「学校見学」や「学校支援ボランティア」として現場で学ぶ機会として人間教育実践力開発演習の科目を設定しています。加えて、課外活動として「Cebu 島 語学研修」を学部の特徴ある取り組みとして設定しています。

カリキュラム・ポリシーを示しておきます。

- ① 広く豊かな社会的常識をもち、人間的社会的に成熟した人を育てる教育
- ② 教育に対する使命感と情熱をもち、子どもと教育的な関係を築く力をつける教育
- ③ 教育の専門家として各教科の内容及び指導法を実践的に深める教育
- ④ 個々の子どもを理解し一人一人を生かすとともに集団を指導する力を身につける教育
- ⑤ 自己教育力をもち、セルフマネジメント能力と生涯学習能力を身につける教育
- ⑥ 学校内外の人々と連携しチームとして活動できる力を身につける教育
- ⑦ 日本の伝統文化を深く理解し、国際的な感覚を身につける教育